

令和7年度教育委員会施策評価一覧表

幸田町教育委員会

対象事業名	事業の概要	令和6年度概算事業費	総合評価	教育委員会内部評価	外部評価委員会評価
<p>学校整備事業</p>	<p>児童及び生徒に対して安全で機能的な学習環境を提供するために、学校施設の建築及び整備を行う。</p>	<p>780,369千円</p>	<p>A</p>	<p>幸田町総合計画実施計画に基づき、児童生徒数の増加を予測し、計画的に学校施設の整備を実施した。校舎の増改築を進め学習環境を整えた。また、全小中学校の普通教室、特別教室及び体育館に空調設備を設置（小学校体育館については、R7年度中完了予定）し、学習環境等の改善を図った。体育館トイレ、職員トイレ等の洋式化についても順次進めており、安全で機能的な学習環境を整えた。</p>	<p>予算の制約がある中で、クラス増による校舎増築対応を進めながら、空調設備やICT化、トイレの洋式化など着実に重要なところを進めている。今後も優先順位を精査し児童生徒の学習環境の整備を計画的に取り組んでいただきたい。</p>
<p>図書館教育推進事業</p>	<p>児童生徒にとって魅力ある学校図書館を目指し、学校図書館図書廃棄基準に該当する蔵書を廃棄しながら、蔵書率100%を目標に図書を購入している。また、より充実した図書館運営をするために改正学校図書館法における学校司書配置の努力義務規定を踏まえ、引き続き学校司書(幸田町における学校図書館指導員)を各学校へ巡回させ、図書の購入・貸出返却作業のサポート・図書の修繕・読み聞かせ等を行い、児童生徒の読書への意欲・関心を高めていく。</p>	<p>8,203千円</p>	<p>A</p>	<p>読み聞かせボランティア団体等との連携や蔵書内容等の充実を積極的に行ったとともに、図書委員や学校図書館指導員による推薦図書の紹介、インターネットを通じた町立図書館の利用、調べ学習での図書館利用、「図書館だより」の発行等で、図書離れを防ぐとともに読書活動への興味や関心を育んだ。</p>	<p>各小中学校に司書教諭や学校図書館指導員を配置し、また読み聞かせボランティアや図書委員会等の活動により読書指導や読書活動が推進され、子どもたちにとって魅力ある図書館運営がされている。情報化が急速に進み、児童生徒の一人一人が情報端末を持つ時代において、情報を適切に収集・選択・活用する技能を身に付ける「学ぶことを学ぶ」場所として、今後も学校図書館の運営及び整備の充実に取り組んでいただきたい。</p>
<p>社会教育総務一般事業</p>	<p>子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣を身に付けることを目指し、「家庭、地域、学校等を通じた社会全体における取組」「子どもの読書活動に関する意義の普及、並びに活動を支える環境の整備」を実施する。</p>	<p>1,792千円</p>	<p>A</p>	<p>関係機関や施設が推進計画に基づいた体制整備に努め、更なる読書活動推進のために第四次幸田町子ども読書活動推進計画を策定し、実施している。各関係機関の協力体制は間違いなく以前よりも強固なものになっており、計画の実現率も高い。</p>	<p>読書に親しんでもらう環境を築くため関係機関同士がしっかりと連携し、様々な取り組みを実践していることは、非常に評価できる。読書を通して得ることのできる体験は非常に重要であり、紙もデジタルも、そのための選択の一つである。今後、何に焦点をおき事業を進めていくべきなのか、しっかりと調整して進めていくように検討されたい。</p>

※評価基準（3段階） A：事業成果良好につき、継続が好ましい。 B：事業成果あるも、一部改善検討の上、継続 C：事業成果に課題あり、見直し又は廃止が適当